

令和元年第2回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和元年9月4日(水) 午前9時30分
令和元年9月5日(木) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- | | | |
|---------------|-----|------------------------|
| (1) 新緑水クラブ | 60分 | (1 早川康司、2 富田博巳、3 栗野文子) |
| (2) 市友会 | 40分 | (4 今瀬和弘、5 工藤政明) |
| (3) 公明党 | 40分 | (6 石丸喜久雄、7 井上純一) |
| (4) 日本共産党議員団 | 40分 | (8 近藤美保子、9 坂 ゆかり) |
| (5) 子どもたちに青い空 | 40分 | (10 村瀬晃代、11 村瀬進治) |
| (6) 東海市民の声 | 20分 | (12 間瀬友浩) |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 早川康司議員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 狭あい道路解消促進について	1 市内には狭あい道路と呼ばれる道路幅が4メートルに満たない道路が数多くあり、災害時の避難路、救急・消防活動や交通、日照等、安全で住みやすい環境をつくる上で大きな障害となっている。狭あい道路の解消による安全で快適な住宅市街地の形成に向けた取組について問う	(1) 本市の狭あい道路の解消状況はどのようなようであるか (2) 市が管理する幅員1.8メートル未満の建築基準法に位置付けられていない道路、いわゆる2項道路に該当しない狭あい道路の整備の考え方はどのようなようであるか (3) 狭あい道路の解消が進まない理由は何か (4) 狭あい道路の解消に向けた他自治体の取組や条例制定事例、また、国の狭あい道路解消に対する事業等を活用する取組も考えられるが、本市としてどのような取組が有効であると考えているか	
2 り災ごみ処理について	1 火災や自然災害に遭われた方は、思いもしない災害で、精神的、肉体的及び経済的にも大きな被害に遭われていると考えられる。本市では、住宅がり災した場合は、り災者の負担軽減や一刻も早い生活再建を支援する取組の一つとして、そのり災ごみを処分手数料全額免除にて受け入れているが、受入基準等で認識の違いが発生する可能性がある。本市における、り災ごみの処理方法等とその手続きが円滑に行われる方策について問う	(1) 火災や自然災害で発生するり災家屋等の廃棄物であるり災ごみの受入基準は、どのように決められているのか (2) り災ごみの手続き及び処理はどのようなようであるか。また、受入実績はどのようなようであるか (3) り災ごみを受け入れる際、どのような問題点が考えられ、その対応策はどのように行われているのか (4) 本市でも、り災者とり災ごみ搬入を請け負った業者等が、り災ごみの受入基準等について、共通認識を持ち、処分が円滑に行われるよう、誰もがいつでも確認出来る方策を考えてはどうか	

<p>3 保育士の業務負担軽減策について</p>	<p>1 令和元年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートする中、保育園における保育の質の向上も重要な課題であるが、保育園においては保育士の業務負担が大きいこと等の理由から、公立保育園だけではなく民間施設を含め、保育士の離職も多く、必要な保育士の確保にも苦慮していると聞いている。そこで保育人材確保の観点から公立保育園での保育士の業務負担軽減策について問う</p>	<p>(1) 保育の質の向上を支える保育人材の確保のため、どのような対策を行っているのか (2) 保育の質を向上させるためにも、保育士が保育に専念できる環境が求められているが、現在、保育士の業務負担軽減のため、どのような方策を考えているのか</p>	
<p>4 緑陽公園予定地周辺の整備について</p>	<p>1 緑陽公園予定地周辺は知多半島道路、伊勢湾岸自動車道や国道23号線などの基幹道路が交差する交通利便性の高いエリアであり、この交通アクセスを生かした物流・工業用地としての民間による開発が進められている。また、緑陽公園予定地内において県有地を活用した施設整備も進められている。そこで、緑陽公園予定地周辺の整備が、周辺地域に与える影響と今後の見通しについて問う</p>	<p>(1) 県有地を活用した重症心身障害児者施設の整備状況と今後のスケジュールはどのようなものであるか (2) 現在、緑陽公園計画予定地周辺で進められている、工業用地としての民間開発の進捗状況を把握しているか (3) 重症心身障害児者施設と工業用地としての民間開発予定地の隣接道となる市道新池線などの道路や交差点の整備内容及びスケジュールはどのようなものであるか</p>	

質 問 者	2 富田博巳議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 生活環境問題について	1 文化センター、養父児童館・養父健康交流の家及び養父町公民館における降下ばいじんの現状等について問う	(1) 文化センター、養父児童館・養父健康交流の家及び養父町公民館における直近の降下ばいじん量はどのようであるか (2) 3つの測定地点を比較した分析結果はどのようであるか	
	2 平成30年度（2018年度）大気測定結果を踏まえ、大気汚染物質が健康被害を生じさせる可能性等について問う	(1) 光化学オキシダントが環境基準に適合していないが、その要因をどのように分析しているか (2) 6つの測定項目について、どの物質が健康被害を生じさせる可能性が高いと考えているか	
	3 臨海部企業が降下ばいじん対策を始めとする、さまざまな環境対策に取り組んでいる中、緑地面積や緑地率が公害防止協定の基準値を達成していることを踏まえ、更なる緑化の推進計画の現状について問う	(1) 環境対策としての臨海部企業による更なる緑化の推進計画を市としてどのように把握しているか (2) 緑化の推進により、事業所内で小動物の生息が確認できたとの話を聞いたが、市としてどのように把握しているか	

<p>2 小中学校への空調機整備後の状況について</p>	<p>1 市内小中学校の普通教室における空調機の整備が完了したことを受け整備後の状況や音楽室や理科室等の特別教室への今後の整備の考え方等について問う</p>	<p>(1) 平成30年度及び令和元年度の一学期に学校内において、熱中症と思われる症状で体調不良を訴えた児童生徒はそれぞれ何人いたのか (2) 空調機の運用基準はどのようなものであるか。また、各学校の教室の状況等により、一律的な運用が難しい場合があると考えますが、そのような場合の運用はどのようなものであるか (3) 今後、音楽室や理科室等の特別教室へ空調機を整備する考えはあるか</p>	
<p>3 河川の氾濫防止・浸水被害軽減対策について</p>	<p>1 本市で初めて高潮を対象とした避難勧告が発令された平成30年9月の台風24号を振り返るにあたり、更なる河川の氾濫防止対策や浸水被害軽減対策が必要であると考えていることから、市内南部を流れる河川における対策等について問う</p>	<p>(1) 市内を流れる河川を管理している機関はそれぞれどのようなものであるか (2) 東信濃橋の欄干に設置されているセンサーの役割はどのようなか (3) 信濃川河口部付近のコンクリート護岸からの草木の繁茂及び横須賀新川の上流部の土砂の堆積について、河川の流れを阻害する恐れがあると考えているが、対策をどのように考えているか (4) 社山北地区の開発が今後予定されているが、横須賀新川に与える影響をどのように考えているか。また、どのような対策を考えているか</p>	

質 問 者	3 粟野文子議員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 まちづくりと空き家等対策について	1 総務省の平成25年度住宅・土地統計調査では、空き家率が過去最高の820万戸、13.5%に上昇している中、本市においても空き家数は5,150戸、11.0%となっており、中でも管理不全な空き家については、周辺環境へ様々な影響をもたらすことが考えられる。そこで、本市における空き家等対策の取組及び課題について問う	(1) 空き家相談窓口へは所有者等が自ら相談をし問題の解決を目指すことが望ましいと考えるが、相談の実態はどうか。また、内容はどのようなものか (2) 空き家を管理不全にさせないための方策として空き家バンクが開設されているが、市の取組実績はどうか (3) 空き家に付帯する敷地内の樹木やごみ、ブロック塀等を含めた空き家の適正管理について、市はどのような対策を実施しているのか (4) 相続人不存在の空き家等の実数を把握しているか。また、取組状況及び課題はなにか	
2 図書館事業について	1 本市においては中央図書館に加え、新たに横須賀図書館を設置し、読書環境の利便性の向上が図られている。様々な社会現象を背景に市民に期待される公立図書館について、利用への配慮及び今後の取組について問う	(1) 読書及び学習の場を提供する施設として、利用目的ごとにどのような配慮をしているのか (2) その時々々の世相を反映する図書の選書基準はどのようなものか。また、市民へのアンケート等の方法により、希望購入図書を募ることはあるか (3) 今後の図書館利用の活性化に向けた取組はどのようなものか	

<p>3 避難所運営及び訓練について</p>	<p>1 防災計画と避難所運営の指針づくりに女性の視点が重要と認識されてきている。内閣府男女共同参画室によると、東日本大震災では避難所に授乳や着替えの場所が設けられなかったケースや、女性に必要な物資が不足しても、運営責任者に女性が少なく、要望が伝わりにくい実態も報告されている。本市における避難所運営及び訓練における取組について問う</p>	<p>(1) 現場での状況判断等の経験、熟練度を上げるため、避難所運営訓練を体験する必要があると考えるが、市民に広く認識してもらう取組はどのようなか (2) 避難所運営マニュアルに要配慮者支援対応として、優しい避難所、男女共同参画の視点に配慮した避難所づくりとあるが内容はどのようなものか (3) 東日本大震災から8年半が経過し社会背景も変化する中、今後において市民に寄り添った避難所運営及び訓練のあり方についてどのような考えで取り組んでいくのか</p>	
<p>4 買い物支援事業について</p>	<p>1 社会福祉協議会及び地域支えあい活動団体によるもの、隣人同士の助け合いによるもの等、様々な形で買い物支援を必要とする高齢者に対するモデル事業等が行われるようになってきた。高齢化と共に必要性が増大すると思われる中、今後の方針及び取組について問う</p>	<p>(1) 各地区月1回のデイサービス運送車両の空き時間を利用した買い物バスが地域の高齢者に喜ばれている。実施エリアの拡大や実施回数の増加が望まれているが、今後の展開についてどのように考えているか (2) 自ら公共交通機関等を利用して買い物に出かけることが出来るが、重い荷物を運ぶことが困難な高齢者の買い物支援についてどのように考えているか</p>	

質 問 者	4 今瀬和弘議員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 横須賀地区道路美化計画について	1 平成27年度に策定された「横須賀文化の香るまちづくり基本計画」に位置づけられた無電柱化による道路美化計画について問う	(1) 平成30年10月より順次無電柱化工事に着手しているが、現状はどのようなか (2) 尾張横須賀まつりへの影響はどのようなか (3) 無電柱化は、防災の面においてどのような効果が考えられるか (4) 道路美化計画について今後の予定はどのようなか	
2 都市公園の遊具について	1 市制50周年を記念して、大池公園及び聚楽園公園に設置される予定の大型複合遊具について問う	(1) 今回設置される遊具について、子どもたちの意見を取り入れた大型複合遊具とのことだが、どのように選定したのか (2) 具体的には、どのような遊具が設置されるのか。また、いつから遊べるようになるのか	
	2 公園遊具の安全対策について問う	(1) 過去5年間に公園遊具の劣化等による事故事例はあるか (2) 公園遊具の安全点検は、どのような周期で行われているか。また、点検方法はどのようなものか (3) 過去に安全基準で最も危険が高いとされるハザードレベル3と判定された事例はあるか。また、ハザードレベル3と判定された場合の対応はどのようなか	
3 スクールカウンセラー派遣事業について	1 本市におけるスクールカウンセラーの推進体制について問う	(1) 本市におけるスクールカウンセラーの配置についてはどのようなか (2) スクールカウンセラーへの相談件数や相談活動内容についてはどのようなか (3) スクールカウンセラー派遣事業の成果と課題はどのようなか	

質 問 者	5 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 らんらんバスについて	1 市内の公共交通機関の利便性向上及び自家用車に過度に頼らない交通環境の形成の一翼を担う、らんらんバスの運行について、現状と本市の今後の考えを問う	(1) らんらんバスの年間利用者数は毎年度増加の傾向を呈しているが、令和元年度の利用者数は、どの程度を見込んでいるのか (2) 平成30年度の利用者数は、約44万人との報告を受けているが、有料乗車や無料乗車等の利用者の内訳は、どのようなものであるのか (3) 利便性向上の観点では、定期乗車券の発行も有効と考えるが、らんらんバスへの定期乗車券の導入に関する調査研究は行われているのか。また、本市のらんらんバスに定期乗車券を導入する考えはあるのか (4) 近隣市との連携や市内の他の交通機関との連携をどのように考えているのか	
	2 高齢者の外出促進や健康寿命の延伸等をはかるための方策として平成28年8月末に導入した、高齢者循環バス利用促進事業について、現状と本市の今後の考えを問う	(1) 高齢者循環バス利用促進事業導入以降に本事業を利用して、らんらんバスに乗車した人数は、どのようなものであるのか (2) 高齢者の利用が増加したことにより生じた課題は整理され、対応策の検討は行われているのか (3) 75歳以上としている対象年齢を拡充する考えはあるのか	

2 消防行政について	1 聴覚障がいや言語障がい等で、会話による意思の伝達が困難な方の119番緊急通報について、本市の現状と今後の考えを問う	<p>(1) 障害者手帳の交付を受けている方を対象に登録制としているeメール119番通報システムの登録は、どのような状況なのか。また、市民へのeメール119番通報システムの啓発は、どのような方法及び内容で行われているのか</p> <p>(2) eメール119番通報システムとFAX119番通報システムを導入しているが、本市消防署管内の緊急通報受信は、どのような状況なのか</p> <p>(3) スマートフォン等から通報用Webサイトにアクセスして緊急通報を行うNet119緊急通報システムを導入する自治体が増えつつあるが、Net119緊急通報システムに関する調査研究は行われているのか。また、本市消防本部もしくは知多広域消防指令センターにNet119緊急通報システムを導入する考えはあるのか</p>	
	2 外国人居住者や訪日外国人観光客等が増加していることから、日本語以外の言語での119番緊急通報への対応が急務と思われるが、本市の現状と今後の考えについて問う	<p>(1) 本市消防署管内における日本語以外の言語での緊急通報受信は、どのような状況なのか。また、その緊急通報への対応は、どのように行われているのか</p> <p>(2) 日本語以外の言語での119番緊急通報に関する課題は整理され、対応策の検討は行われているのか</p> <p>(3) 日本語以外の言語での119番緊急通報に対応できるように多言語コールセンターを導入する自治体が増えつつあるが、本市消防本部もしくは知多広域消防指令センターに多言語コールセンターを導入する考えはあるのか</p>	
3 災害に強いまちづくりについて	1 広く防災意識向上のための普及啓発をするとともに、実践的な災害活動の技術を習得することを事業内容に掲げる市民総合防災訓練が、令和元年11月に明倫コミュニティで実施されることについて問う	<p>(1) これまでに実施してきた市民総合防災訓練において得られた反省や課題及び改善策は、どのようなものがあるのか</p> <p>(2) 明倫コミュニティ地区において、最も対応が必要と考えられる災害は何か</p> <p>(3) 令和元年度の市民総合防災訓練は、どのような災害と被害を想定して行われるのか。また、明倫コミュニティ地区における実践的な災害活動とは、どのような活動を想定し、市民や防災関係機関への災害活動の技術の習得は、どのように行われるのか</p>	

	<p>2 地球規模での温暖化が危惧される気候では、猛烈な台風が、日本の本州付近まで達することも予想されている。本市にも甚大な被害を及ぼした伊勢湾台風の襲来から今年で60年を迎えようとしている中、猛烈な台風の襲来に備えるための本市の取組について、現状や考えを問う</p>	<p>(1) 伊勢湾台風のような猛烈な台風が本市を襲った場合、どのような被害が生じると想定しているのか (2) 猛烈な台風の襲来に備えるための市民への啓発は、どのような方法及び内容で行われているのか (3) 猛烈な台風の襲来を想定し、気象庁から発表される情報に対して市の対応は、どのようなものであるのか</p>	
--	--	---	--

質 問 者	6 石 丸 喜久雄 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 児童虐待防止対策について	1 全国で児童虐待に関する相談件数が年々増加し、虐待による痛ましい事件も後を絶たない状況が続いている。2019年6月、児童虐待防止対策を強化するための児童福祉法等改正法が成立し、一部を除き2020年4月から施行される。改正法は、親等による体罰の禁止や児童相談所の体制強化及びDV対策を担う機関との連携強化等が柱となっている。全ての子どもたちが心身ともに健やかに成長することを願い、本市における児童虐待防止対策の取組について問う	(1) 本市における過去3年間の児童虐待に関する相談・通報件数はどうか。また、その内容及び傾向はどうか (2) 本市の児童虐待防止対策における未然防止、早期発見・早期対応及び在宅支援の取組はどのようなか (3) 2020年4月から施行される児童福祉法等改正法を受けて、本市はどのようなことを実施していく考えか (4) 児童虐待の早期発見のためのポイント等を分かりやすくまとめた児童虐待防止対応マニュアルを作成し、家庭、地域、学校及び保育園等で活用できるようにしてはどうか	
2 障害者福祉について	1 本市の障害者福祉タクシー利用助成事業は、障害者の属する世帯の経済的負担の軽減及び社会参加の促進を図るため、対象者に福祉タクシー等の初乗料金分の助成券を年間24枚交付している。対象者の中には通院の利用だけでも足りないという人がいるため、福祉タクシー等利用助成券交付枚数の見直しについて問う	(1) 近隣他市の福祉タクシー等利用助成券の交付状況について、どのように把握しているか (2) 福祉タクシー等利用助成券の交付枚数を一律に増やすか、もしくは、特に必要と認める対象者に追加交付してはどうか	

	<p>2 本市の身体障害者用自動車運転免許取得費補助事業は、身体障害者が初めて普通自動車運転免許を取得するために要した経費の一部を補助するもので、補助率3分の2で上限を10万円としている。しかし、自動車教習所にかかる費用が最低でも30万円を超えているのが現状であるため、補助額の上限の見直しについて問う</p>	<p>(1) 身体障害者用自動車運転免許取得費補助事業の補助を、実質経費の3分の2程度の額にするため、上限としている10万円を見直し、引き上げるべきと考えるがどうか</p>	
<p>3 芸術劇場の災害・危機管理対策について</p>	<p>1 コンサートの最中に災害が起きたという想定で行う避難訓練込みの「避難訓練コンサート」を実施している文化施設が増え、最近では火災やテロ等、さまざまな事態を想定して行われている。芸術劇場における災害・危機管理対策の現状及び「避難訓練コンサート」の実施について問う</p>	<p>(1) 芸術劇場における災害・危機管理対策マニュアルの作成状況及びその内容はどのようなものであるか。また、マニュアルに沿った避難訓練の実施状況はどのようなものであるか (2) スタッフの危機管理能力の向上を図るとともに、より安全な運営を目指して、「避難訓練コンサート」を実施してはどうか</p>	
<p>4 道路の維持管理について</p>	<p>1 本市の道路の管理は、当局をはじめ委託業者等でパトロールを実施し、安全確保に努めているが、道路管理の瑕疵が原因で損害賠償に至る事故が度々起きている。埼玉県所沢市では、「道路の穴ぼこを教えて」と市民に呼びかけるキャンペーンを実施して成果を上げている。市民に通報の協力を呼びかけて、道路の安全確保の向上を図る取組について問う</p>	<p>(1) 道路の穴ぼこ等、危険箇所を発見または通報を受けて修繕した件数のうち、市民からの通報によるものはどのくらいあるか (2) 「道路の穴ぼこを見つけたら教えてください」と市のHPや広報で市民に呼びかけ、道路の安全確保に対する市民の意識向上を図る取組を実施してはどうか</p>	

<p>5 優良従業員顕彰式のあり方について</p>	<p>1 本市では、毎年秋に優良従業員顕彰式を開催している。市内事業所に継続勤務する優秀な従業員を顕彰することにより、従業員に対する社会の認識を高め、雇用の安定を図ることを目的としているが、その目的はすでに達成されていると考える。そこで、春に市内の事業所に就職した新社会人を対象に歓迎会を開催し、本市の魅力等を紹介した方が良いと考えるが、市の見解を問う</p>	<p>(1) 優良従業員顕彰式は、いつから、どのような理由で実施しているか。また、その効果をどのように検証、評価しているか (2) 市内の事業所に就職した新社会人を対象に歓迎会を開催し、本市が持つ多様な魅力を早く知ってもらえるよう、行政サービス、観光及びまちの魅力等について紹介してはどうか</p>	
---------------------------	--	--	--

質 問 者	7 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 高齢運転者の交通事故防止について	1 高齢者の運転する車が市街地を暴走するなどして、歩行者が犠牲になる痛ましい事故が相次いでいる。その多くは、アクセルとブレーキの踏み間違いに起因している。その防止対策を大きく前進させるためには、後付けの安全運転支援装置及び安全運転サポート車の普及が重要であると考え。そこで本市の普及促進に向けた取組について問う	(1) 過去3年間の運転免許証の自主返納者数及び70歳以上のドライバーの返納率の推移について、どのように把握しているか (2) 市として、高齢運転者の事故防止への取組はどのようなものであるか (3) 後付けの安全運転支援装置や安全運転サポート車の普及促進のため、補助制度の導入を検討すべきと考えるがどうか	
2 ドライブレコーダーの有効活用について	1 先日、高速道路上を走行する乗用車を停止させ、運転する男性を殴打したとして男が逮捕された事件を受け、「あおり運転」が改めて問題視されると共にドライブレコーダーの有用性が再認識された。本市の交通事故防止及び防犯対策におけるドライブレコーダーの有効活用について問う	(1) 市内の過去5年間の交通事故及び犯罪の発生件数の推移について、どのように把握しているか (2) 2018年10月に東海警察署とドライブレコーダーの映像提供に関する協定を締結したが、取組状況と効果はどうか (3) 交通事故や犯罪の抑止及び捜査に活かすため、本市と東海警察署、市内事業者及び市民が協力してドライブレコーダー見守り協力隊の結成を検討すべきと考えるがどうか	

3 市民サービスの質の向上について	1 市のホームページ上で、子育て等の質問に人工知能（AI）が返答するプログラム「AIチャットボット」を導入し、スマートフォンやパソコンから24時間、市民が知りたい情報を入手しやすくすることにより、市民サービスの質の向上及び職員の負担軽減につなげる自治体が増えている。本市の市民サービスの質の向上への取組について問う	(1) 市民の多様な相談等に対応するために、窓口対応において職員の専門性の確保が求められている。そこで、AIを活用して専門性を補うような対策を、本市はどのように考えているのか (2) 市民サービスの質の向上及び市職員の負担軽減のためにAIチャットボットを導入する考えはあるか	
4 子どもの弱視対策について	1 子どもの弱視は早期発見及び早期治療によって大幅な回復が期待できる。そこで、本市の実施する3歳児健診での視力検査の精度向上に向けての取組について問う	(1) 本市の3歳児健診における視力検査の内容はどのようなものか。また、その現状をどう評価しているのか (2) 3歳児健診の際に、手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置を活用した視力検査の実施を検討すべきと考えるがどうか	
5 ごみ減量対策について	1 本市は、2024年度新清掃センター稼働に向けて、ごみ減量化に取り組んでいる。ごみ減量先進自治体の京都市ではごみ量をピーク時の2000年度約82万トンから2017年度に50%削減の約41万トンを達成し、年間約154億円のコスト削減を実現した。そこで、京都市の取組を参考に、本市の現状及び今後の対策について問う	(1) 2024年度の1人1日当たりのごみの排出量目標850グラムに対し、現在の達成状況はどうか (2) ごみの組成調査を定期的に行っているのか (3) ごみ減量における現在の課題と今後の対策はどうか (4) 食品ロス対策への取組はどのようなものであるか (5) リサイクルが可能な紙箱や包装紙等の雑紙の資源化への取組はどのようなものであるか (6) ごみ減量化のためには市民意識の向上が不可欠である。事業者や市民に対して、京都市が実施している、ごみのことを一緒に楽しく考える地域学習会「しまつのこころ楽考」のような啓発活動の取組を考えてみてはどうか	

質 問 者	8 近 藤 美保子 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 国民健康保険税について	<p>1 2018年度から県単位化が実施され、標準保険料率に合わせた国民健康保険税の値上げが進められている。</p> <p>本市は2018年度に大幅値上げをしている。標準保険料率に合わせた国民健康保険税の改定により、市民への負担が一層大きくなることや、生活への圧迫が予想されることから、国民健康保険税負担軽減の具体策について問う</p>	<p>(1) 県内の他市と比べ、滞納世帯数、短期被保険者証及び資格証明書発行数、差押件数は高い状況である。この現状をどのように認識しているか</p> <p>(2) 標準保険料率に近づくよう5年間で引き上げる方針が出されているが、一般会計からの繰入額を増やし、値上げを抑えるべきではないか</p> <p>(3) 収入減を理由にした減免制度利用者について、過去3年間の推移はどのようなか。減免条件にある前年中の総所得金額等を現行の200万円から400万円に引き上げるべきではないか</p> <p>(4) 国の制度改革で公費が拡充され、子どもの多い自治体等への財政支援の強化がされてきている。これを利用して、子どもに係る均等割の減免をすべきではないか</p>	
2 安心安全ならんらんバスの運行について	<p>1 2018年11月、らんらんバスを利用していた女性が事故にあった。事故後、らんらんバスの運行を委託している事業者中部運輸局が監査を行い、2019年6月に処分が決まった。安全な運行の確保は重要であり、特に運転手の運転時間や拘束時間等については国の基準を守ることが大前提である。</p> <p>らんらんバスの運行を委託している事業者への対応について問う</p>	<p>(1) 事故の原因及び事故後の市の対応はどのようなであったか</p> <p>(2) 委託先の運転手の労働環境について、点検等を行っていたかをどのように把握しているか</p> <p>(3) 国の基準を守り、安全な運行ができるよう必要な人員を確保すること等を明記した詳細な仕様書を作成するべきではないか</p>	

<p>3 高齢者難聴への補聴器助成について</p>	<p>1 高齢に伴い耳が聞こえにくくなることで、家族との会話や、サロン及びシニアクラブ等の外出の機会が少なくなり、高齢者のひきこもり等社会からの孤立にもつながっていると考える。</p> <p>高齢者の社会参加促進に補聴器が必要と考えるが、高額なため多くの人が購入をあきらめているのが現状であり、加齢による難聴者への支援について問う</p>	<p>(1) 早期からの補聴器使用が推奨されているが、補聴器の必要性をどのように認識しているか</p> <p>(2) 聞こえが悪くなることで起きる認知機能等の低下について、どのような予防策を考えているか</p> <p>(3) 高齢者支援課に「難聴」に関する専用の相談窓口や、耳が聞こえにくい方が相談に来やすい窓口を設置してはどうか</p> <p>(4) 補聴器の購入費補助が必要と考えるがどうか</p>	
---------------------------	---	---	--

質 問 者	9 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 放課後児童クラブについて	1 小学校における放課後児童クラブでは、夏休み等の長期休業期間中、利用する児童が増える傾向にあるが、その対策及び豊かな放課後を保障するための課題について問う	(1) 保護者の勤務時間に対応するために、長期休業期間は、開始時間の午前8時を午前7時30分に早めることはできないか (2) 児童が利用中に体調を崩した場合、保護者が迎えに来るまで安静に休ませるスペースをどのように確保しているのか (3) 夏休み中に放課後児童クラブで小学校体育館を利用するには、エアコンの設置が必要と考えるがどうか (4) 放課後児童クラブの指導員は、子どもたちの安全への配慮が常に求められる仕事である。それにふさわしい待遇改善が必要と考えるがどうか	
2 地球温暖化対策について	1 地球温暖化により、全地球の気温が上昇することで、海面上昇や様々な異常気象というかたちで、生態系への影響や、気候の変化による食料・水・健康・経済等への被害も拡大し、取り返しのつかない状況まで地球環境を悪化させる可能性もある。未来を担う子どもたちに、深刻な問題となっている地球温暖化について関心を持ってもらう取組について問う	(1) 環境教育の中で、地球温暖化についてどのような取組を行っているか (2) 環境省が制作した小中学生対象の地球温暖化の意識啓発アニメ「ガラスの地球を救え！」の上映会の実施を進める考えはあるか	

3 降下ばいじん対策について	1 降下ばいじん量の内、鉄鋼3社に由来する成分は、分析結果にも現れていると考える。降下ばいじん量のめざそう値の算出根拠及び鉄鋼3社の降下ばいじん自主管理目標値の設定の考えについて問う	(1) 降下ばいじん量の2023年めざそう値である1平方キロメートル当たり3.3トンは、どのような考え方から定められたか (2) 降下ばいじんの成分の分析結果から、鉄鋼3社に由来する成分を特定することは可能だと考えるがどうか (3) 鉄鋼3社に降下ばいじん自主管理目標値の設定を求めていくことが、めざそう値の達成に不可欠と考えるがどうか	
----------------	---	--	--

質 問 者	10 村 瀬 晃 代 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 公害について	1 平成13年に和解した名古屋南部大気汚染公害裁判で、国が交通負荷と大気汚染を軽減する施策を行うこと、現在の日本製鉄(株)をはじめとする企業11社が公害防止対策に努力することとなったこと等を踏まえ、本市の公害に対する考えを問う	(1) 名古屋南部大気汚染公害裁判での和解内容を踏まえ、本市における大気汚染の現状をどのように分析しているか (2) 本市の大気汚染状況に対する、企業の発生責任と対策責任について明確にし、企業からの二酸化炭素排出量等情報を公開するよう働きかけるべきと考えるがいかにか (3) 高度経済成長期には公害が大きな問題となった北九州市において、市民、企業及び行政が一体となった取組で環境を急速に改善させた事例を参考に、本市でも早急に市民、企業及び行政が一体となって効果的な対策に取り組むべきと考えるがいかにか	
	2 ばいじん対策にも繋がる、臨海部企業の工場内の環境対策について、本市の認識や働きかけの状況を問う	(1) 本市は臨海部企業に対し、工場内の清掃をする等の環境対策について働きかけをしているのか (2) 工場内での散水によるばいじん対策は効果が低いと考えるが、より効果的な対策を把握しているか。また、散水によるばいじん対策の見直しを臨海部企業と協議する考えはいかにか (3) 工場内から出る自動車を毎回清掃することで、ばいじんの飛散を削減できると考えるが、臨海部企業に働きかける考えはいかにか	
2 乳がん検診について	1 本市が30歳以上の女性を対象に実施している乳がん検診の現状及び今後のあり方について問う	(1) 本市における乳がん検診の目的と基本方針はいかにか (2) 本市が実施しているマンモグラフィによる検診の実績をどのように分析しているか (3) 愛知県内において、超音波検査を取り入れ、マンモグラフィと併用して検査を実施している自治体もあると聞くが、その実施状況を把握しているか (4) マンモグラフィと超音波検査を併用実施することで、検出感度が向上するとの報告もあることから、本市でも併用実施を検討すべきと考えるがいかにか	

3 アスベスト対策について	1 本市の建築物におけるアスベストの使用状況とその対策について問う	(1) 市内公共建築物におけるアスベストの使用状況を把握しているか。また、公共建築物におけるアスベスト除去の方針及び今後の対応はどのようなか (2) 本市は、民間建築物におけるアスベスト対策の状況を把握しているか。また、民間建築物へのアスベスト除去費用の補助について、今後実施する考えはあるか	
4 公共建築物の維持管理について	1 公共建築物は市民サービスの向上に繋がる反面、多大な維持管理経費がかかり、その負担軽減が必要となることから、ネーミングライツの導入について本市の考えを問う	(1) 公共建築物における維持管理経費を軽減するために行っている取組はどのようなか。また、その効果と実績はいかに (2) 現在、廃止が計画されている公共建築物はあるか。また、廃止する理由はどのようなか (3) 近隣市町における公共建築物へのネーミングライツ導入事例を把握しているか。また、その効果をどのように分析しているか (4) 公共建築物の維持管理経費の負担軽減を図るために、ネーミングライツを導入してはどうか。また、スポーツ・文化施設での導入事例が多いが、河川に架かる橋梁や歩道橋等への導入も検討してはどうか	
5 水害対策について	1 地域住民に大きな被害をもたらす豪雨による浸水の発生状況及びその対策について問う	(1) 令和元年7月22日に発生した大雨による、市内の浸水被害件数はいかに。また、市の対応はいかに (2) 平成12年に発生した東海豪雨の教訓を生かした浸水対策はなされているか (3) 名鉄尾張横須賀駅東側は浸水被害が多く発生しており、早急に対策を講じるべきと考えるが、市の考えはいかに (4) 浸水対策で必要となる土のうの設置場所について、地域住民にどのように周知しているのか。また、高齢者でも土のうが使用しやすい環境整備に努めているか	

<p>6 プレミアム商品券発行補助事業について</p>	<p>1 発行総額や使用期間が変更されたことにより、買い控える市民が増えたと聞くことから、プレミアム商品券に関する本市の考えを問う</p>	<p>(1) プレミアム商品券の過去3年間の申込状況はどのようなか。また、どのように分析しているか (2) 使用期間が変更された理由をどのように把握しているか (3) プレミアム商品券の発行による経済効果をどのように見込んでいるか (4) 今後もプレミアム商品券発行の補助を継続していく考えはあるか (5) プレミアム商品券についての市民アンケートを取る考えはあるか。また、市民の関心をどのように分析しているか</p>	
-----------------------------	---	---	--

質 問 者	11 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 降下ばいじん対策について	1 降下ばいじんは、本市南西部に多く飛来し、50年以上にわたり住民の生活に深刻な影響を与えているため、降下ばいじん対策を本市の最重要課題の1つとして取り組む考えについて問う	(1) これまでの降下ばいじん対策の取組と効果をどのように分析しているか。また、今後、降下ばいじんの減少に結び付く対策の実施をより一層促す考えはいかにか (2) 発生源対策としての臨海部企業への対策強化の要請以外に、住民の生活への悪影響を軽減するための取組を市の役割として実施する考えはあるか。また、住民の生活にもたらしている悪影響の状況について、調査する考えはいかにか	
2 地域気象観測所について	1 気象庁の設置する地域気象観測所は、以前、本市に設置されていたが、現在は大府市に移設されている。地域気象観測所について、本市の考えを問う	(1) 地域気象観測所が本市から移設された理由をどのように把握しているか (2) 地域気象観測所の設置のメリット及びデメリットをどのように考えているか (3) 名鉄太田川駅前等への地域気象観測所の設置について、気象庁に要請する考えはいかにか	
3 選挙の投票率について	1 令和元年7月21日に執行された参議院議員選挙において、本市では新たに市内大学及び高校での期日前投票を実施したものの、投票率向上に十分な効果を上げたとは言えず、全体の投票率も近隣市である知多市及び大府市が、50%を超える中、本市は50%に届かなかったが、投票率の向上に向けた取組について、本市の考えを問う	(1) 市内大学及び高校における期日前投票所の投票者数はいかにか。また、大学及び高校の期日前投票所を利用して投票した学生以外の人数はいかにか (2) 新たに期日前投票所を、市内大学及び高校に設置した目的はいかにか。また、市は、目的を達したと評価しているのか (3) 期日前投票所についての市民ニーズを調査し、より利用者の見込まれる、しあわせ村及び横須賀図書館への期日前投票所の設置を検討する考えはいかにか	

<p>4 赤ちゃん誕生お祝い事業について</p>	<p>1 本市では、赤ちゃんの誕生を祝い、市の花であるランの花を贈っているが、贈られる方によっては、ランの手入れが負担となる場合も想定されるため、贈る品に選択肢を持つことについて、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 贈る品について、ランの花よりも液体ミルク等、子育てに直接役に立つ品物の方がよいとの声も聞くが、今後、贈る品を選択制とし、子育てに直接役に立つ品物を追加する考えはいかにか</p>	
<p>5 名鉄太田川駅前ゴーカート場の設置について</p>	<p>1 平地公園のゴーカートは人気が高く、休日には多くの子どもたちが行列を作っており、ゴーカート目当てで平地公園を訪れる市民も少なくない。そこで、イベント開催時以外の名鉄太田川駅前のにぎわい創出のため、市制50周年記念オリジナルカートの製作により高められた市民の関心を活かし、名鉄太田川駅前にゴーカート場を設置することについて、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 名鉄太田川駅前のにぎわい創出のため、エコを意識した、電動式のゴーカートを走らせるゴーカート場を設置する考えはいかにか。また、人気のあるランバイク等により、子どもの集客を中心とした、にぎわい創出を図る考えはいかにか</p>	
<p>6 道の駅の建設について</p>	<p>1 西知多道路6車線化に伴い、大田インターが建設される予定であるが、インター建設に併せ、空と(ソラト)道の駅と名付けたアトラクション施設を含む道の駅を建設する考えを問う</p>	<p>(1) 大田インター建設と同時に空と道の駅と名付けた道の駅を建設し、全国からの利用を見込み、名鉄太田川駅3階からの空中ゴンドラのようなアトラクション施設も含んだ道の駅を建設する考えはいかにか</p>	

7 ごみ指定袋制度について	1 ごみ指定袋制度についての市民の理解に対する市の認識及び高齢者等に対する可燃用ごみ袋の追加配布の考えを問う	<p>(1) ごみ指定袋制度について、多くの市民が不満を持っていると思われるが、市民がどのように評価しているか調査したことがあるか。また、調査したうえで市民ニーズとのミスマッチがあった場合には、ごみ指定袋制度を市民ニーズに適合する制度に改める考えはいかにか</p> <p>(2) 赤ちゃん用紙おむつ対応として、可燃用ごみ袋の配布枚数を増やしているが、その経費はいかにか。また、知多市では、赤ちゃんの紙おむつ対応として、指定袋以外の袋でもごみとして出されれば回収しているとのことだが、同様の制度を検討する考えはいかにか</p> <p>(3) 紙おむつを使用している高齢者に対しても赤ちゃんと同様に対応を検討すべきであると考えがいかにか</p>	
8 夜間通行の安全確保策について	1 中ノ池地区及び高横須賀地区等における防犯灯及び電柱の反射表示の設置について、市の考えを問う	<p>(1) 高横須賀大坪・家下交差点東側道路に、現在に至るまで防犯灯が設置されていないが、その理由は何か。また、今後の防犯灯設置の考えはいかにか</p> <p>(2) 高横須賀家下交差点から大坪交差点及び大坪交差点から中ノ池への道路沿いの電柱に反射表示が設置されていないが、設置予定はいかにか</p> <p>(3) 高横須賀大坪交差点から中ノ池へ行く道路の防犯灯の照度が非常に高く、運転に支障をきたす恐れがあるが、改善する考えはいかにか</p>	
9 らんらんバスについて	1 気温が30度の時の路面温度は50度といわれているが、高齢者の利用の多い、らんらんバスの日陰のないバス停における待合環境について問う	(1) バス停の待合環境の改善のため、日陰のないバス停にはスタンド式の椅子やパイプ式の屋根を設置するべきと考えがいかにか	
10 職員の市民対応について	1 市の窓口等において、職員の市民対応に差を感じることにについて問う	(1) 市職員は窓口等において、好ましくない印象を与えないように留意し、市民に対して丁寧に対応することが求められていると考えが、職員教育はどのように行われているか。また、職員の市民対応に関する苦情についての対応状況はいかにか	

質 問 者	12 間 瀬 友 浩 議 員 (東海市民の声)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 スーパーシティの実現について	1 令和12年頃の未来社会を先取りしたスーパーシティ構想の実現に向けて国家戦略特別区域法及び構造改革特別区域法改正案が令和元年6月7日に閣議決定された。まちの利便性を高めるだけでなく、子どもたちにとっても夢があるスーパーシティの実現に向けて取り組んでいく必要があると考えるが、本市の考えを問う	(1) 本市におけるスーパーシティについての認識はどのようなものであるか (2) スーパーシティの実現に向けて、本市での機運を高め、準備を始める考えはあるか	
2 放課後児童健全育成事業の充実について	1 全国的に放課後の児童健全育成に対する要望が増加傾向であり、日本一子育てしやすいまちを目指す本市も放課後児童健全育成事業を更に充実させる必要があると考えるが、本市の考えを問う	(1) 放課後児童健全育成事業を実施する市と民間事業者との意見交換や情報共有等の連携はどのような状況なのか (2) 民間事業者にどのような支援を行っているのか。また、民間事業者の指導員の指導力向上に向けた支援を行ってはどうか (3) 利用者数が減少傾向である児童館を活用し、民間事業者に委託して放課後児童健全育成事業を実施してはどうか	
3 不登校支援について	1 全国的に小中学生の不登校者数が増加傾向であり、本市においても全国平均をやや上回って増加傾向である。今後、益々重要になる不登校支援について、本市の考えを問う	(1) 大学生が活躍する学習広場みらいーな及びほっとプラザのように、復学に向けた学習支援がより柔軟に受けられる環境をほっと東海に整備してはどうか (2) 学校に慣れるきっかけづくりとして、ほっと東海の通学児童生徒が給食を食べられる機会を設けてはどうか (3) 今後、不登校の児童生徒への支援をより充実させるために、民間事業者と連携する考えはあるか	

<p>4 ひきこもり支援について</p>	<p>1 長期化や高齢化が問題となっており、全国で100万人にのぼるとみられるひきこもりについて、孤立及び困窮から一人でも多く救い出すために、ひきこもり問題をさらに改善させていかなければならないと考えるが、ひきこもり支援について、本市の考えを問う</p>	<p>(1) ほっとプラザ職員の支援力向上に向けてどのような取組を行っているのか (2) 支援力の更なる向上を図るために、NPO法人や先進自治体での訪問支援や相談対応を見学・体験する研修を盛んに行っているかどうか (3) 岡山県総社市のようにひきこもりサポーターを養成する取組を検討しているかどうか</p>	
----------------------	---	---	--